

学校番号	48	学校名	県立 土浦工業 高等学校	(全日) 定時
------	----	-----	--------------	---------

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規 ・ 日本国憲法 ・ 教育基本法 ・ 学習指導要領		校訓 自律 独創 寛容 奉仕		生徒の実態 (1)学年による部活動への参加率に差があり、部活動離れの現象も見られる。工業関連の文化部もあり特色を持っているが、入部者数は横ばい傾向にある。 (2)専門学習に関連して職業観・勤労観育成のチャンスは多いが、生徒はそれを生かそうとする意識が薄い。 (3)少数であるが不本意入学の生徒、基礎学力が不十分な生徒、規範意識に欠ける生徒も存在する。	
保護者の願い (1)思春期の子供の安定した成長と生活 (2)計画性のある学習習慣の確立と自己実現のためのキャリア教育 (3)将来への確かな展望に基づく、適性や性格に合った進路の決定と社会への適応		学校の教育目標 (1)工業教育の特色を生かし、社会貢献ができる生徒の育成 (2)主体性を生かしたキャリア教育の推進 (3)基本的生活習慣の確立 (4)基礎学力の向上と資格取得の推進 (5)生徒会活動や部活動の活性化 (6)PTA活動の活性化		地域の実態 県南の中心的役割を果たしてきた土浦市だが、商業圏の変化から長く商店街が不振にあえぐ中、工業生産は回復傾向を見せている。	
各教科・科目		道徳教育重点目標 (1)基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身の調和ある生活の実現に努める (2)美しいものに感動する豊かな心を持つとともに、自然を愛護しながら、自ら自然にはたらきかける人間活動と自然との調和をはかる。 (3)集団の意義についての理解を深め、役割と責任をもち、他者との協力関係の向上に努める。 (4)勤労の意義を理解し、工夫と創造の喜びを得ながら、公共の福祉と社会の発展に寄与する。		生徒指導 (1)服装・頭髪等の容姿指導や遅刻防止等、基本的生活習慣の確立を図る。 (2)校内・校外の巡視及び立哨指導を充実させ、家庭や関係諸機関との連携を密にすることで、問題行動の未然防止に努める。 (3)交通マナーについてホームルーム・その他の機会を活用して指導することで交通安全教育を推進する。	
国語	言語による表現力、理解力を育成するための学習活動を通して思考力・想像力および言語感覚を養うとともに豊かな感性を養う。	特別活動		家庭との連携 (1)学校広報誌等生徒の成果や学校内の様々な情報が家庭に伝わるようにする。 (2)PTA総会への参加を促し生徒の実態の共通理解を深める。 (3)学年PTA、面談等を活用して情報交換に努める。	
地歴	社会事象をとらえて民主的かつ平和な国際社会の一員としての自他の人格を尊重する態度を養う。	ホームルーム活動(第2学年以降) 適宜、ロングホームルームで豊かな心の育成に向けた指導を行う。 (第2学年:道徳プラス10時間)		地域社会との連携 (1)資格取得等に関して近隣企業との連携を図る。 (2)学校開放講座を続け、さらに発展させることで、生徒が取り組んでいる専門技術への地域住民への理解を図る。 (3)ボランティア活動等を通じて、地域との交流を図る。	
数学	論理的思考を問題解決に活用できる力を身に付け、自然や生活の中に数学的な美を見いだす心や心理を愛する心を養うように努める。	(1)文化祭や旧議会などの学校行事・生徒会行事を行う際に委員会や部活動等の生徒会組織が積極的にかかわれるように配慮し、自主的な活動による問題解決力や責任感の育成を図る。 (2)ホームルーム活動のための資料をなるべく多く提供する。また、評議員会などを尊重し、ホームルーム本来の自律的な活動を支援する。 (3)生徒会本部が主導して各種常置委員会や部活動と連携しながら生徒会行事を行うようにし、生徒会活動の円滑な運営と自治意識の向上を図る。 (4)対外的な企画等をとらえて、生徒会リーダーの育成を図る。 (5)部活動の新入生全員体験制度を実施し、部活動の活性化を図る。また、活動状況の把握や顧問の配置の調整などを円滑に進め、それぞれの特性を生かした活発な場とすることで、生徒が人間として相互に尊重し合う態度を養う。			
理科	論理的に自然の事物・現象を調べる方法を学び、自然を守り、自然に適切に働きかけようとする態度を養う。	公民科			
保健	健康安全に努め、合理的なルールを重んじ、楽しく明るい生活を営もうとする態度を養う。	公共 社会における人間の在り方についての見方・考え方を育成し、対話や協力によって社会の諸課題を追求および解決する活動をとらえて、持続可能な社会づくりの主体を担う態度を育成する。			
芸術	美しいものを発見する感性を磨き、創造的活動を通して豊かな情操を養う。	(1)自分が周囲から認められるような雰囲気作りにより自己肯定感を高めること。 (2)主体的に社会参画と協働によって共通理解までたどりつくような話し合いや議論によって公共的、社会的な諸問題を解決する資質・能力を身につける。			
外国語	英語学習を通して多様な異文化を理解し、国際理解、国際協力、国際貢献を尊重できる感性を養う。				
家庭	家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ、生活の様々な場面での健全な判断力と実践的な態度を養う。				
機械	社会に工業の役割を理解させ、勤労に対する正しい考え方を養うとともに、責任ある行動をする態度を育成する。				
電気	専門技術の向上を図るとともに、資格取得の奨励と正しい勤労観を養い、責任ある行動する態度を育成する。				
建築	建築CAD・レタリング等の資格取得、設計競技への参加を奨励し、専門技術を向上させる。				
土木	社会に出てからの土木技術者としての自覚、勤労の喜び、人を思いやる心の大切さや人間関係の築き方を学び、道徳的判断力を養う。	総合的な探究の時間 道徳教育全体計画及び「道徳」の年間指導計画の充実と共通理解を図る。公開授業や研修をとらえて指導方法の充実を図る。各担当者による生徒実態に即した教材の開発を促す。			
情報技術	ものづくり教育の基礎となる学力向上を図るとともに、検定試験や資格取得の奨励により進路意識を向上させる。				